

平成24年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか

1 事業の成果

本年度はひきこもりの若者の社会参加を実現するために、新たに横須賀市の補助金を活用し「シェアハウス運営事業」を横須賀市保健所健康づくり課、こども青少年支援課と協働し行った。延べ5名の若者が利用し、共同生活を体験した。

生活保護世帯の子ども、若者の支援のために横須賀市生活福祉課より委託を受けた「社会的居場所づくり事業」は2年目を迎えた。中学三年生の生徒4名は全員高校進学を果たした。貧困の世代間連鎖の解消に向けた取組みを今後も継続していく。

横須賀市市民生活課「よこすか元気ファンド」を利用し、若者の居場所作り事業の充実を図った。

4月には横須賀商工会議所からキャリア教育推進連携表彰に際して感謝状を受けた。

5月にははるかぜ書店とフリースペースを統合し、一体感が生まれた。

11月には子ども若者育成・子育て支援功労者として子ども・若者育成支援部門で内閣府特命担当大臣表彰を受賞し、横須賀市長に報告をした。

子どもや若者が社会参加できる地域環境づくりに貢献するため、上町商盛会を始めとする上町地区の複数の商店街で構成する上町イベント実行委員会の結成に参加した。従来の商店街活動に加え、より充実した地域貢献となった。

その他、認定NPO法人制度の適用を目指し、キャンペーンを行うとともに、使用目的を明確にした指定寄付として基盤基礎寄付を実施した。

2 事業内容

(1) 学校外で育つ子ども達及び孤立する若者への居場所の提供

- ・内容 不登校の子ども及びひきこもりの若者の居場所作りを進めるフリースペース事業。日常の活動に加え、次記の活動を行った。ボウリング、カラオケ、プール、ソレイユの丘・千葉への遠足、お泊り会、大楠山・鷹取山登山、お別れ会等
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペースあばうと他
- ・従事者人員 3名（島田、石井、鈴木）
- ・対象者 不登校の児童・生徒とひきこもりの若者21名 延べ829名
- ・支出額 629,000円

(2) 不登校及びひきこもりの子ども・若者とその家族に対する支援活動

ア) 働きたい若者たちへの就労支援事業（キックオフプロジェクト）

- ・内容 若者が一般社会において必要な知識、経験を積むことを目的として、座学と実践を行う事業。また、若者同士のコミュニケーションを円滑にするための講座も行った。ラッピング、DST（デジタルストーリーテリング）に加え、新たに商業簿記の学習を開始。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店
- ・従事者人員 5名（萩原、石川藍、石川隆、高橋、須摩）
- ・対象者 ひきこもりの若者9名 延べ737名
- ・支出額 1,636,000円

イ) 不登校及びひきこもりの子どもを持つ親たちへの支援事業

- ・内容 不登校やひきこもりの子どもを持つ親が集まり、相互に助言・相談を行う自助的な交流を支援する事業。
- ・日時 通年（毎月第2日曜日）
- ・場所 当法人フリースペース・harucafe
- ・従事者人員 3名（島田、石井、萩原）
- ・対象者 正会員及び教育、子ども等についてさまざまな悩みをもつ人々と教育関係者や当法人に関りをもつ方々23名 延べ46名
- ・支出額 50,000円

(3) 子ども・若者の学習の支援活動

- ア) 子ども・若者の学習不安への支援活動
- ・内容 不登校・発達障害および学習不安を抱く子ども・若者に安心して学べる機会を提供する事業。学校の授業の補習、定期試験対策、高校受験、大学受験のニーズに応えた。また、生活保護世帯の子どもに対して学習支援を行った。
 - ・日時 通年
 - ・場所 当法人学習サポートネクスト
 - ・従事者人員 11名（島田、石井、鈴木ほか非常勤職員9名）
 - ・対象者 学習に不安を抱いている児童・生徒・若者35名 延べ901名
 - ・支出額 4,492,000円
- イ) 不登校・進路相談会への参加
- ・内容 神奈川県教育委員会や横須賀市教育委員会が主催する不登校の進路相談会に参加した。
 - ・日時 6/30、10/13、12/1
 - ・場所 横須賀市内、神奈川県立青少年センター
 - ・従事者人員 4名（滝田、島田、石井、石川隆）
 - ・対象者 正会員及び一般市民550名
 - ・支出額 50,000円
- (4) 子ども・若者とその家族・教育関係者・学生・市民の交流の機会及び場の提供
- ・内容 当法人の活動の一端を担うボランティア・プロボノの受け入れ事業。当法人に直接訪れるボランティアだけでなく、神奈川県立青少年センターや横須賀市立市民活動サポートセンターと連携し、ボランティアの受け入れ、交流を行った。横浜市立大学医学部看護学科より学生を受け入れた。
 - ・日時 通年
 - ・場所 当法人フリースペース、はるかぜ書店、商店街等
 - ・従事者人員 3名（石井・石川藍・石川隆）
 - ・対象者 正会員及び一般市民51名 延べ543名
 - ・支出額 50,000円
- (5) 教育や不登校・ひきこもり等に関する相談及び情報提供
- ・内容 子どもの成長・発達、若者のひきこもり等に関して、来所及び訪問による相談・カウンセリングを行う事業。本人と家族の安定・安心を深め、社会参加への道筋を助言する。
 - ・日時 通年
 - ・場所 当法人相談スペース
 - ・従事者人員 3名（滝田、島田、石井）
 - ・対象者 正会員及び教育・子ども等について悩みをもつ人々41名 延べ123名
 - ・支出額 1,007,000円
- (6) 他の市民活動団体との交流活動
- ・内容 山形県、神奈川県及び横須賀市等のNPOとの交流を行った。神奈川県立青少年センター別館では県内20団体とフリーマーケットを開催。当法人内フリースペース等において湘南市民メディアネットワークの映像作りワークショップに子ども・若者が参加した。横浜コミュニティデザインラボの運営するひきスタ事業にも検討委員として協力した。山形県新農業人ネットワークとは毎月交流を行い、野菜等の販売、宅配を行なった。
 - ・日時 通年
 - ・場所 当法人内、横須賀市内及び神奈川県内
 - ・従事者人員 6名（島田、石井、石川藍、石川隆、萩原、伊藤）
 - ・対象者 NPO法人と一般市民250名
 - ・支出額 1,258,000円
- (7) 教育・不登校・ひきこもり等についてのシンポジウム・講演会の企画運営
- ・内容 内閣府主催のフォーラムに参加した他、不登校やひきこもり等子ども・若者に関する社会的課題に対する理解啓発のため、カフェカルチャーと称し少人数を対象に講演等を行った。2月は横須賀商工会議所主催のまちゼミと協働して開催した。
 - ・日時 通年及び11/11、2/8.16.22
 - ・場所 当法人はるかぜ書店、harucafe、横浜市開港記念会館ほか
 - ・従事者人員 4名（島田・石井、滝田、石川隆）

- ・対象者 正会員及び一般市民200名
- ・支出額 252,000円

(8) 就労を目指す若者に対する支援活動

ア) 就労支援研修事業

- ・内容 ひきこもりの若者たちの就労支援研修の場として、はるかぜ書店、harucafe及び地域お助けサービスの運営を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人はるかぜ書店、harucafe、上町商盛会商店街、横須賀市内
- ・従事者人員 6名（島田、石井、石川藍、石川隆、萩原、伊藤）
- ・対象者 正会員及び一般市民延べ3,600名
- ・支出額 5,413,000円

イ) 共同生活研修事業

- ・内容 ひきこもりの若者が共同生活を行い、生活の技術を学び自立に向けた取り組みを行うシェアハウスを運営した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人シェアハウスかわい荘
- ・従事者人員 6名（島田、石井、石川藍、石川隆、萩原、伊藤）
- ・対象者 正会員及び一般市民4名延べ5名
- ・支出額 2,792,289円

ウ) 夜間の居場所の提供事業

- ・内容 昼間に外出しづらい若者を対象に利用、相談しやすい環境づくりをするため、夜間にフリースペースを行った。また、利用者同士の親睦を図るため、課外での活動も行った。
- ・日時 通年 毎週金曜日18時～21時
- ・場所 当法人フリースペース、横須賀市内
- ・従事者人員 4名（島田、石川藍、石川隆、石井）
- ・対象者 正会員及び一般市民延べ150名
- ・支出額 144,114円

(9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・内容 上町商店街の活性化を図るため、商店街事業の一端を担う（ゴーヤグリーンカーテン・灯ろうまつり・収穫祭・よこすかハロウィンフェスティバル・よこすか産業まつり・梅祭り）。さらには上町イベント実行委員会の結成に参加した。また、商店街次世代リーダー養成講座（U.S.N.）においては横須賀市内の商店街関係者と交流を図り、横須賀市域の商店街の活性化の方策を練る。
- ・日時 7/13,14灯ろうまつり・10/22～24収穫祭・10/27よこすかハロウィンフェスティバル・11/10～11よこすか産業まつり・2/19～21梅祭り、通年（U.S.N.）
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店、上町商盛会商店街
- ・従事者人員 6名（島田、石井、伊藤、石川藍、石川隆、萩原）
- ・対象者 正会員及び一般市民120名
- ・支出額 50,683円